

ガソリン携帯缶の 安全で正しい使い方



**灯油用ポリ容器にガソリンを
入れてはいけません。**

ガソリン容器（携帯缶）は、消防法により金属製容器であることなどの規格が定められており、ガソリン用として性能試験をクリアした容器のみ使用可能です。



**ガソリンは -40°Cでも気化し、
引火、爆発の危険性があります。**

ガソリンはマイナス 40 度でも気化する性質があるため、一定期間の保管や、乗用車の室内やトランクに積んで搬送する場合は窓を開け換気して運転しましょう。



**セルフガソリンスタンドでは
利用客が自らガソリンを容器へ
詰め替えることはできません。**

セルフ方式の場合は従業員に依頼する、もしくはセルフ方式以外のガソリンスタンドにて購入して下さい。



**ガソリンの容器への詰め替えや
保管時の注意、取扱いについて**

ガソリンは引火性が極めて高い物質であり、取扱いを誤ると非常に危険です。ガソリン詰め替え、保管時には容器製品の「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使い下さい。

ガソリンの容器への詰め替えや保管は消防法による性能試験等をクリアした「UN」マーク取得製品をお選び下さい。



安心と安全の証 消防適合品

性能試験をクリアしたガソリン携帯缶製品には左記の「試験確認済 UN」マーク、「消防法適合品」が表示、貼付されています。



製品についてのお問合せ



矢澤産業株式会社

URL: <http://www.yazawa-jp.com/>

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村神稲9180

TEL: 0265-35-7633 FAX: 0265-35-7634